

社会資本総合整備計画 事後評価書

令和03年03月31日

計画の名称	横浜港における客船寄港の促進												
計画の期間	平成29年度 ~ 平成31年度 (3年間)								重点配分対象の該当	○			
交付対象	横浜市												
計画の目標	日本を代表するクルーズポートとして、寄港数の増加や客船の大型化に対応していくため、客船受入機能の強化を行う必要があります。また、横浜港に寄港する数多くの客船を市民や来街者にご覧いただくとともに、クルーズの魅力や楽しさを伝えながら、市内経済の活性化を図り、我が国のクルーズ市場の拡大に寄与していきます。												
全体事業費(百万円)	合計(A+B+C+D)	723	A	716	B	0	C	7	D	0	効果促進事業費の割合C/(A+B+C+D)	0.96	%

番号	計画の成果目標(定量的指標)			
	定量的指標の定義及び算定式	定量的指標の現況値及び目標値		
		当初現況値	中間目標値	最終目標値
		H28年次		H31年次
1	岸壁改良等により、外国客船の受入機能が強化され、寄港数が増加します。 クルーズ客船寄港数(回) [横浜港への年間クルーズ客船寄港数]	127回	回	200回

備考等	個別施設計画を含む	-	国土強靱化を含む	-	定住自立圏を含む	-	連携中枢都市圏を含む	-	流域水循環計画を含む	-	地域再生計画を含む	-
-----	-----------	---	----------	---	----------	---	------------	---	------------	---	-----------	---

A 基幹事業

基幹事業(大)	番号	事業種別	地域種別	交付対象	直接間接	事業者	種別1	種別2	要素となる事業名 (事業箇所)	事業内容 (延長・面積等)	市区町村名/ 港湾・地区名	事業実施期間(年度)					全体事業費 (百万円)	費用 便益比	個別施設計画 策定状況		
												H29	H30	H31	R02	R03					
一体的に実施することにより期待される効果																					
備考																					
港湾事業	A02-001	港湾	一般	横浜市	直接	横浜市	戦略	改良	岸壁改良(大黒ふ頭T3~T6岸壁)	防舷材49基	横浜港・大黒ふ頭地区						346	4.9	-		
	A02-002	港湾	一般	横浜市	直接	横浜市	-	-	緑地整備(新港9号客船バース背後)	緑地整備0.3ha	横浜港・内港地区						159	8.0	-		
	A02-003	港湾	一般	横浜市	直接	横浜市	戦略	改良	岸壁改良(山下ふ頭2、3号岸壁)	防舷材42基	横浜港・内港地区						211	3.3	-		
												小計						716			
												合計							716		

C 効果促進事業

基幹事業（大）	番号	事業 種別	地域 種別	交付 対象	直接 間接	事業者	種別1	種別2	要素となる事業名 （事業箇所）	事業内容 （延長・面積等）	市区町村名 / 港湾・地区名	事業実施期間（年度）					全体事業費 （百万円）	費用 便益比	個別施設計画 策定状況	
												H29	H30	H31	R02	R03				
		一体的に実施することにより期待される効果																		
		備考																		
港湾事業	C02-001	港湾	一般	横浜市	直接	横浜市	-	-	近代化産業遺産照明演出 設備整備	緑地内クレーンの照明演出設 備の整備	横浜市						7	-		
		緑地整備（A02-002）に合わせ、近代化産業遺産を有効活用するため照明演出設備を整備し、近代港湾発祥の地としての歴史性、個性を持ったクルーズポートにふさわしい緑地とする。																		
											小計						7			
											合計						7			

事後評価

事後評価の実施体制、実施時期	
事後評価の実施体制	事後評価の実施時期
評価の透明性、客観性、公正さを確保するため、学識経験者を入れた評価を実施	令和3年3月
	公表の方法 横浜市ホームページへ掲載
事業効果の発現状況	
定量的指標に関連する 交付対象事業の効果の発現状況	<ul style="list-style-type: none"> <li>・大黒ふ頭、山下ふ頭の岸壁改良、新港ふ頭の緑地整備により、クルーズ客船の受入機能が強化された。</li> <li>・クルーズ客船寄港数は堅調に増加していたが、新型コロナウイルス感染症の影響により、令和2年2月からクルーズ客船の寄港がストップした。</li> </ul>
定量的指標以外の交付対象事業の 効果の発現状況（必要に応じて記述）	<ul style="list-style-type: none"> <li>・新港ふ頭9号岸壁背後の港湾緑地が整備されたことにより、水辺が市民に開放され、客船利用者や来街者の新たな観光スポットとして、市内経済活性化が図られた。</li> </ul>
特記事項（今後の方針等）	
<ul style="list-style-type: none"> <li>・今後の国内外クルーズの再開に向け、利用者等が安心してクルーズを楽しめるよう、国や船社等と調整を進める。</li> </ul>	

目標値の達成状況			
番号	指標（略称）		
	目標値 / 実績値	目標値と実績値に差が出た要因	
1	最終目標値	200回	新型コロナウイルス感染症の影響により、令和2年2月以降のクルーズ客船の寄港が困難になったため。
	最終実績値	172回	

# 参考図面

計画の名称	横浜港における客船寄港の促進		
計画の期間	平成29年度～平成31年度 (3年間)	交付対象	横浜市

